

## ■トピックス

### ◆本人中心のケア

人手不足や制度の行方など不安視される中でも、最近では「利用者本位」や「利用者中心」という介護保険本来の目的を重視する言葉がクローズアップされることが増えています。本人の希望する願いや夢を叶えることができるケアや支援体制をどう構築していくかが問われています。（新聞記事参考）

### ◆19年1年間、介護倒産最多

2019年の介護倒産は過去最高でした。慢性的な介護人材の不足も拍車をかけ、特に小規模事業所の倒産が相次いだという調査結果です。人材の奪い合いで小規模事業所の淘汰が進み、今後もその流れは続くとの見方です。（新聞記事参考）

### ◆予測されている将来像

私たちは発想を変えないといけないと言われます。団塊の世代が75歳を迎える2025年、そして次の節目となる2040年には、1,000万人をこえる85歳以上の高齢者が地域で暮らし、単身者の増加、認知症、体は元気でも生活支援に困る人は高齢者の数以上に増える、その対策をどうするか問われています。ものすごいスピードで社会が変化している中で、国も従来の医療・介護のサービスのあり方に固定化しないでと訴えています。自分たちの親の世代を振り返るとまさかここまで長生きするとは思わなかったという「思いがけず長生きした人」がすでに地域にあふれ、さらに団塊の世代は、若い内から医療の向上、健康維持や介護予防の効果、長生きができることを知っている世代、そうしたことでさらに長寿へ。スマホやタブレットを使いこなす、近年進化しているIoT（もののインターネット）も自助や互助を後押しし、2040年は現代の平均的ケアやサービス、支援のあり方だけではない高齢者の姿を目の当たりにする、そういう社会が予測されています。80歳でも就労している人、90歳で社会貢献している人など元気な人がいる一方で、60代と若くして慢性的な病気にかかり虚弱な人、長寿に伴い生活困窮に陥る人など、健康や生活の格差などもみられるそうした社会が到来します。多様性と格差のある将来の高齢者には、これまでの高齢者像と同じ一括りの平均的な制度サービスや支援のやり方では、通用せず時代遅れのものになると予測されています。地域包括ケアシステムや共生社会とは、地域単位で住民や民間企業と共に新たな支援の仕組みを構築すること、またそうしたものを面として広げると共に、専門機関も含め有機的に協働していく姿といえます。すでに「地域の実情に応じて」動き出しているところもあれば、まだ足踏みしている住民や自治体もあります。時間がかかってもここをやらなければならないことは、もうはっきりしています。（地域包括ケア研究会報告書参考）

## 【佐賀県地域共生ステーション関連】

■2月19日(水) 13:30 次回世話人会 場所を変更いたします

場所：たすけあい佐賀 ミモザ です。

今年度最後の世話人になります。今年度の振り返りや来年度の計画が主な議題になります。世話人の皆様は万障繰り合わせの上、ご参加いただきますようお願い致します。

## ■2月19日（水）19:00～20:30 第4回地域共生ステーション資質アップ研修

講師 認定NPO法人市民福祉団体全国協議会 代表理事 鷲尾公子氏 場所:アバンセ

現在お申込み受付中です。お早目にFAXにてお申込みください。

佐賀県地域共生ステーション連絡会は、認定NPO法人市民福祉団体全国協議会にグループ会員として加入しています。第4回は、神奈川県藤沢市で認定NPO法人ぐるーぷ藤の会長、また認定NPO法人市民福祉団体全国協議会の代表理事も務められる鷲尾公子氏をお迎えしての講演です。

「地域づくり・街づくりと介護保険のこれから～市民協における地域の取組み・第8期介護保険改正に向けて～」と題した内容でお話していただきます。別添チラシにてお申込みください。

当日は、講演の他、市民協からのご案内などがあります。

## ■2月27日 地域支え合いサポーター養成講座開催 佐賀県主催

場所：嬉野市塩田公民館 大集会室・視聴覚室 時間：9時～18時

主催／佐賀県 事務局／地域共生ステーション連絡会西部ブロック

連絡先／NPO法人ぬくもいのまちづくりさえずり

地域住民同士が多様なサービスで支えあい、子供から高齢者まで年齢を問わず、又障がいの有無に関わらず、誰もが自然に集い、住みなれた地域の中で安心して生活していける街づくりをめざすため、ボランティア等の生活支援の担い手の養成・発掘や担い手として活動する場づくり等が進むことを目的に開催されます。

## ■令和元年度杵藤地区広域市町村圏組合介護保険事務所主催

2月29日（土）、3月1日（日）生活支援の担い手育成研修会

受託しています。

連絡会では、平成29年度から佐賀県の事業として介護予防・日常生活支援総合事業のカリキュラムに準じて、住民主体サービスによる担い手養成を展開してきました。30年度には伊万里市から受託を受け、今年度は杵藤地区広域市町村圏組合介護保険事務所から正式に受託することになっています。講師でご協力の会員の皆様はよろしくお願いたします。

この講習は、介護保険の訪問介護における生活支援（住民型サービスA）をする上での入口的な講習であると共に、住民による助け合い（住民型サービスB型）のための講習会を兼ねています。全国的にも住民主体の担い手養成と訪問型サービスAをセットにした研修会が増えています。連絡会では一早く取り組んでいます。研修の一環としても参加いただけますので、新しく採用される方などの研修としてお問い合わせされてみてはいかがでしょうか。（別添チラシ）

## ■ 3月17日、18日 伊万里市令和元年度第2回担い手養成開催

今年度、第2回目となる担い手養成講座が伊万里市で開催されます。連絡会が受託する総合事業ガイドラインカリキュラムに則った基準緩和型ヘルパー（生活支援型）の講習会です。伊万里市の方であればどなたでも受講できますので、事業所の研修としてのお申込みも可能です。**別添チラシ**にてお申込みください。

## ■ 協議体(話し合いの場)に参加しましょう!!

地域共生ステーションの皆様は、地域に密着した事業展開を推し進めておられるところも多いと思います。介護保険の中でも、地域を意識した取り組みが重要視される施策へと変化しつつあります。2025年以降、爆発的に増えると見込まれる生活支援や軽度者の支援に対応できる事業所づくりを今から始めていきましょう。

協議体は県内で少しずつできていきますので、地域共生ステーションが各々の地域の資源になるためにも、積極的な参加をお勧めいたします。

## ■ 連絡会受託事業及び佐賀県の補助事業について

佐賀県地域共生ステーション連絡会では、佐賀県から「佐賀県地域共生ステーション開設等支援事業」を受託しています。令和元年からは、一般財源から地域医療介護総合確保基金（長寿社会課担当）の財源に変更されることにより、この事業の実施については「介護人材の確保」に資する事業を実施していくことが求められています。

地域共生ステーションや地域福祉に携わる人（雇用・有償ボランティア・ボランティア）の確保や定着につながる事業展開にシフトしていくこととなります。人口減少社会に突入し、今後担い手の確保はどこも喫緊の課題になると予想されます。各地域共生ステーションにおいて、この補助事業を有意義に活用していきましょう。

地域共生ステーションでは、介護保険事業を柱としながらも、多様な生活支援サービスの創出や地域を巻き込んだ人材の確保などが期待されています。特に、新しい介護予防日常生活支援総合事業が始まったことにより、住民主体の「一般介護予防事業」や「通所・訪問サービスB」などへの参画が、長期的な事業の安定や、担い手確保につながる可能性があることから、連絡会ではこれら事業への参画を呼び掛けています。すでに体操教室や居場所づくり、在宅での生活支援や移動サービスなど実践されているところもあり、こうした事業所は市町における総合事業の補助対象にもなり得ます。軽度者支援というだけではなく、地域に密着した事業展開を安定的に行う意味でもこうした事業への参画は、将来的な地域の「利用の窓口」ともなり、事業者として取り組むメリットも大きいと考えます。将来に備え、今からの下地づくりには是非チャレンジください。

「佐賀県地域共生ステーション推進事業」の補助要綱が佐賀県のホームページに掲載されています。地域共生社会実現に向け、ぬくもいホームの推進及び転換が主たる目的になっていますが、総合事業としての活用も含め、サテライトや地域住民交流の拠点づくりとして補助を活用されてみてはいかがでしょうか。（相談は佐賀県福祉課になります。）

## 【地域情報】

## ■ブロック・会員活動・連絡会以外の地域イベント情報等

※各地域共生ステーションやそれ以外の地域の情報をMMで配信しますので、メールでの情報提供にご協力ください。(fukusinoie@world.ocn.ne.jpまで)

### 中部ブロック (佐賀市・小城市・多久市・神崎市・江北町・大町町)

- 2/12 (水) 13:30～15:30 佐賀市地域支え合い講演会  
演題：「今なぜ地域の支え合いが必要なのか」 場所：メートプラザ  
講師： 大阪 純 氏 (東北こども福祉専門学院副学院長) 参加費：無料

### 西部ブロック (武雄市・鹿島市・嬉野市・白石町・太良町)

### 北部ブロック (唐津市・伊万里市・有田町)

- 2/16 (日) 10:00～12:00 唐津市生活支援体制整備事業「地域づくり講演会」  
演題： 「住民でつくる安心・安全の共生社会とは～地域におけるつながりの大切さ～」  
講師： 中村 秀一 氏 (九州大学大谷短期大学福祉学科学科長) 参加費：

### 東部ブロック (鳥栖市・みやき町・吉野ヶ里町・上峰町・基山町)

- 2/24 (月) 14:00～15:30 鳥栖市市民公開講座「鳥栖市の高齢化のいまとこれから」  
講師： 阿部かおり 氏 (さわやか福祉財団さわやかインストラクター)  
場所：鳥栖市民文化会館小ホール 参加費：無料

ブロック代表の皆さま、情報提供にご協力ください。

.....

## 【さが福祉移動サービス・ネットワーク関連】

### ■連絡会主催・移動サービス認定運転者講習 4月25日、26日開催

(2月15～16日開催分は受講者少数のため上記日程に変更させていただきます。ご迷惑をおかけいたしますがご了承ください。)

福祉有償運送の資格取得の講習会になります。福祉有償運送事業の運転手並びに4条ぶらさがり許可の通院等乗降介助を実施する訪問介護員等が対象になります。デイサービス事業所で運転されるドライバーの方のスキルアップ、登録や許可を要さない住民主体の移動支援にあたられる方の安全運転の担保として、また二種免許をお持ちの方で乗降介助の技術を学びたい方などにもお勧めです。

◆場所：認定NPO法人市民生活支援センターふくしの家会議室  
(佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー3F)

◆電話：0952-36-6865 FAX：0952-36-6895

「移動サービス認定運転者講習」 移動サービス(移動支援)をはじめませんか！！

移動サービス認定運転者講習会（福祉有償運送大臣認定講習）をさが福祉移動サービスネットワーク主催で開催しています。福祉有償運送実施団体の方はもとより、デイサービスの安全運転のスキルアップ、また、今後、地域づくりにおいて生活支援の移動支援も注目を集めています。「さが福祉移動サービス・ネットワーク（ふくしの家 0952-36-6865 又は、ふくしの家HPから申込み用紙をダウンロード）にお申込みください。

申込書ダウンロード <http://www.fukushinoie.jp/>

## ■DVD 住民主体の移動・外出支援って何？

DVD「～地域にあるクルマと人で行く支え合いのしくみ～住民主体の移動・外出支援って何？」がNPO法人全国移動サービスネットワークから好評発売中です。住民による登録や許可を要しない運送の実践が収録されています。

## ■佐賀県の福祉有償運送団体

令和元年12月1日時点で、33団体となっています。県内でも地域によっては移動サービスを実施できるところが不足しています。社会貢献の一つ、サービスの一環として、是非参画下さい。福祉有償運送を実施したい団体様は相談をお受けしています。お気軽にご相談ください。

[http://www.pref.saga.lg.jp/ki\\_ji0031144/3\\_1144\\_25454\\_up\\_036ena15.pdf](http://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji0031144/3_1144_25454_up_036ena15.pdf) (佐賀県HPより)

## ■佐賀県の国土交通大臣認定福祉有償運送講習団体

- 1 さが福祉移動サービス・ネットワーク（通常講習年間4回開催）

講習内容 福祉有償運送・セダン型講習

- 2 認定NPO法人市民生活支援センターふくしの家（臨時講習のみ）

上記、2団体が認定を受けています。通常講習以外にご依頼がある場合は、ご相談ください。

.....

### 【配信元】

## 佐賀県地域共生ステーション連絡会

## さが福祉移動サービス・ネットワーク

〒849-0937 佐賀県佐賀市鍋島三丁目3番20号（鍋島シエストハーモニービル3F）

認定NPO法人市民生活支援センターふくしの家事務局内

TEL：0952-36-6865 FAX：0952-36-6895

メール：[fukusinoie@world.ocn.ne.jp](mailto:fukusinoie@world.ocn.ne.jp)

佐地共連ホームページ <http://sachikyoren.com>

※メールアドレスが不明なところにはファックスにて送信しております。

※ファックス受信の事業所様は、お手数ですが、上記メールアドレスにご返信ください。

※このMMニュースは、関係行政機関にも配信しています。